

大飯発電所 3 号機の定期検査開始

2026年10月2日
関西電力株式会社

大飯発電所 3 号機（加圧水型軽水炉 定格電気出力 1 1 8 万キロワット、定格熱出力 3 4 2 万 3 千キロワット）において、2026 年 10 月 5 日から第 2 2 回定期検査を実施します。

定期事業者検査を実施する主な設備は、次のとおりです。

原子炉本体
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
原子炉冷却系統施設
計測制御系統施設
放射性廃棄物の廃棄施設
放射線管理施設
原子炉格納施設
その他発電用原子炉の附属施設

以 上

（添付資料）大飯発電所 3 号機 第 2 2 回定期検査の概要

大飯発電所3号機 第22回定期検査の概要

1. 主要工事

今回の定期検査では、大型機器や1次系配管等の取替えおよび増改造工事はありません。

2. 2次系配管の保全対策

(図－1 参照)

当社の定めた「2次系配管肉厚の管理指針」に基づき、2次系配管の103箇所（主要点検部位：80箇所、その他部位：23箇所）については超音波検査（肉厚測定）、5箇所については内面目視点検を実施します。

また、過去の点検で減肉傾向が確認された部位3箇所、配管取替え時の作業性を勘案した部位3箇所、今後の保守性を考慮した部位4箇所、合計10箇所を耐食性に優れたステンレス鋼の配管に取り替えます。

3. 蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査

蒸気発生器4台（A～D）のうち、A、C－蒸気発生器伝熱管全数※について渦流探傷検査を実施する予定です。

※A、C：各3，382本、計：6，764本

4. 燃料集合体の取替計画

燃料集合体全数193体のうち77体（うち、44体は新燃料集合体）を取り替える予定です。

5. 今後の予定※

原子炉の起動については、「界磁喪失」警報発信に伴う発電機自動停止に係る対策の実施状況を踏まえ検討します。

※：当初の予定

原子炉起動、臨界：2026年12月下旬

調整運転開始：2026年12月下旬

本格運転再開：2027年1月下旬

以 上

図－１ ２次系配管の保全対策

点検概要

今定期検査において、合計１０８箇所について超音波検査（肉厚測定）等を実施します。

○ ２次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査（肉厚測定）および内面目視点検

	「２次系配管肉厚の管理指針」 の点検対象部位	今回点検実施部位	
		超音波検査（肉厚測定）	内面目視点検※１
主要点検部位	１， ２ ８ ３	８ ０	５※２
その他部位	１， ２ ２ ８	２ ３	－
合計	２， ５ １ １	１ ０ ３	５
		１ ０ ８	

※１：内面目視の結果、配管内面に減肉が認められた箇所については、超音波検査（肉厚測定）を実施します。

※２：高圧排気管（高圧タービンから湿分分離加熱器までの配管）

交換概要

今定期検査において、合計１０箇所について配管の取替えを実施します。

交換理由	交換前	交換後	箇所	計
過去の点検で減肉傾向が確認されているため 計画的に取り替える箇所	炭素鋼	ステンレス鋼	３	３
配管取り替え時の作業性を勘案して取り替える箇所	炭素鋼	ステンレス鋼	３	３
今後の保守性を考慮して取り替える箇所	炭素鋼	ステンレス鋼	４	４

[合計 １０箇所]

<系統別概要図>

